

軒天
(その他部位)

スカイフレッシュ

スカイフレッシュは、カチオン形NAD樹脂からなる、ターペン可溶1液形アクリル塗料です。特殊カチオン系アクリル樹脂を使用することで、既存塗膜に対し優れた付着性を有するだけでなく、塗膜も強靱に仕上がります。乾燥時間も短く、シーラーを使用せずに塗装ができるため、塗装作業が快適な塗料です。

なお、1液弱溶剤タイプのため、下地塗膜に幅広く適合し扱い易く、環境にも優しい塗料です。

特長

- 1) 特殊なカチオンタイプの樹脂で下地に密着、可溶樹脂により素材に浸透密着、さらにNAD(非水エマルション樹脂)により強靱な塗膜を形成致します。
- 2) シーラー不要で、旧塗膜を侵し難く下地を選びません。また塗装時に液垂れや、飛び跳ねが少なく、乾燥時間も短いことから塗装作業が快適になります。また、高耐候性能を有する為、メンテナンス周期の延長が可能になります。
- 3) 防藻・防カビ性を持ち、通気性にも優れていることから、湿気がこもり易い所に最適です。空気中の水分と反応し強固な塗膜を構築するので硬化剤調合の必要がありません。常温で硬化し、反応硬化形なので耐候性・耐汚染性に優れています。

適用下地

モルタル、コンクリート、ブロック、窯業系サイディングボード、木部、金属

旧塗膜との適合性

アクリル樹脂塗料・ウレタン樹脂塗料・酢ビアクリル塗料・アクリルシリコン樹脂塗料

塗料性状

	項目	内容
1	混合比	-
2	色	白、N-90、N-80、19-90A
3	艶(60°)	90、艶消し
4	比重	1.4
5	固形分	69
6	外観	有色液体
7	消防法による危険物区分	第4類 第2石油類
8	労働法による表示対象物	キシレン、メタノール、エチルベンゼン

塗装条件

項目	内容
塗装方法	刷毛、ローラー、エアレス
希釈率	塗料用シンナーA 0~10%
標準塗布量	0.12 kg / m ² / 回以上

可使用時間及び塗装間隔

季節	気温	塗装間隔
夏	25～35℃	2時間以上
春・秋	15～25℃	
冬	5～15℃	

色相

標準色

荷姿

16kg

使用上の注意

- 1) 主剤と硬化剤の配合割合は厳守して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良が発生します。また十分な塗膜性能が発現できませんのでご注意下さい。
- 2) 2液反応硬化型塗料のため、可使用時間を超過して使用しますと性能低下及びトップコートとの層間密着性を低下させる原因となります。可使用時間を厳守し、必ず可使用時間内に使い切して下さい。
- 3) 硬化剤は、湿気硬化性ですので、使用後は必ず密栓し、水分混入の無い様に保管して下さい。
- 4) 以下の場合は、塗装出来ませんのでご注意下さい。
 - ・天候が悪い(降雨、降雪、強風)場合。
 - ・湿度が85%以上ある場合。
 - ・気温が5℃以下の場合や、施工後数時間以内に5℃以下になる可能性がある場合。
 - ・被塗物が水で塗れていたり、錆、油等の遺物が付着している場合。
- 5) 0℃以下の場所や直射日光の当たる場所での材料の保管は避けて下さい。
- 6) 下地の劣化が著しい場合(白亜化試験: 3以上)は、プライマーを2回塗りして下さい。
- 7) 旧塗膜が水性の場合、縮みを生じることがありますので、予めご確認ください。
- 8) 使用した器具類は直ちにシンナー洗浄して下さい。放置致しますと硬化し洗浄が難しくなります。
- 9) 取り扱いにはラベルの注意事項に従って下さい。詳細についてはSDSをご参照下さい。

安全衛生上の注意

●本来の用途以外に使用しないで下さい。 ●使用前に取扱説明書を理解して、取り扱って下さい。 ●粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないで下さい。 ●取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。 ●必要に応じて個人用保護具を使用して下さい。 ●飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡して下さい。口をすすいで下さい。 ●粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診断を受けて下さい。 ●暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡して下さい。 ●緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。 ●容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理して下さい。 ●施錠して子供の手の届かないところに保管して下さい。 ●直射日光や水漏れは厳禁です。 ●塗料などの缶の積み重ねは3段までとして下さい。 ●日光から遮断し、換気の良い場所で保管して下さい。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないで下さい。●内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄して下さい。 ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。 □詳細な内容、表示例以外の事項については、製品安全データシート(SDS)をご参照下さい。 □本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談下さい。